

## 羽島市議会議員

# 野口 よしひろ



## 政策広報誌『絆』第3号

### 羽島市議会6月定例会一般質問要旨

## シティセールスを強化・柔軟な企画財政を!!

### 「シティセールス戦略会議」設置を提案

## 質問事項

### シティセールス戦略について

#### ① クラウドファンディングの導入意向について

#### ② 企業版ふるさと納税導入について

クラウドファンディング、企業版ふるさと納税は、行政の企画力が重要となる施策であり、本市における資金調達的手段として有効的です。現在、執行中の事業など寄附金で賄えることが可能となり、予算軽減策として導入提案をしました。

#### ③ シティセールス戦略会議設置の考えについて

クラウドファンディングや企業版ふるさと納税の導入、現行の元気な羽島応援寄附金、羽島市のブランド品の育成など羽島市の魅力を最大限に PR できる企画を生み出す組織を編成するため、シティセールス戦略会議の設置を提案しました。

### 危機管理について

#### ① 行政機関における BCP 策定状況と企業に対する BCP 策定に向けた働きかけについて

熊本地震で明らかとなった BCP 策定率の低さは全国的に問題となりました。本市では BCP 策定段階にあり、その進捗状況を確認すると共に、地元企業への BCP 策定への働きかけについて質問をしました。

#### ② 羽島市危機管理体制方針の見直しについて

平成 17 年策定の本方針を見直し、現在の社会情勢に見合ったものになるよう提言しました。

#### ③ ドローンの活用について

##### ・導入されたドローンの運用方法と羽島市の規制について

##### ・災害時における活用や今後の導入について

自民党は「ドローン議連」を立ち上げ、ドローンの普及、安全対策に本腰を入れました。本市においても橋梁点検等で活用するドローンを購入したところです。あらゆる事態にドローンが活用できるよう提案しました。

#### ④ 「はしメール」の成果、大規模災害時等ボランティアに対する登録体制について

昨年、提案した登録制メールは、「はしメール」として運用がスタートしました。提案者としての責任を感じつつ、現在の登録者数や市民の皆様の反応を行政に聞くと共に、熊本地震の対応に鑑み、本市においても災害時、市外からお越しのボランティアの皆様に「はしメール」をご登録頂き、支援作業に情報提供できるよう提案しました。

# 一般質問詳細

## シティセールス戦略について

### 質問：クラウドファンディングの導入意向について

「クラウドファンディング」は、自治体が財政状況により、予算措置等が困難な問題に対して課題解決のためのプロジェクトを打ち出して目標寄附金額を設定し、寄附を募り資金調達をするものです。**本制度の導入意向についてお伺いします。**

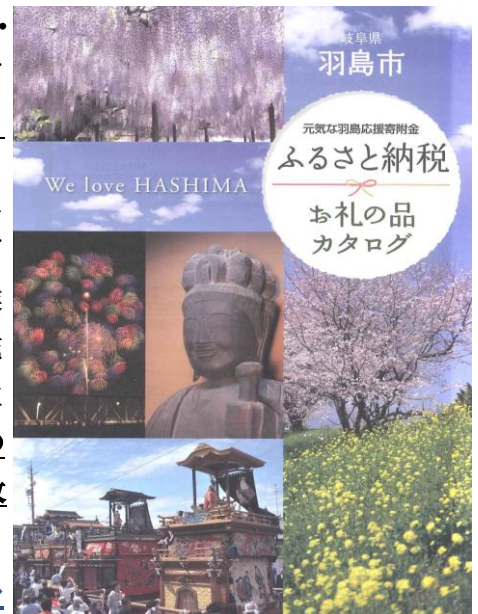
**答弁：**地域課題の解決、財政負担の軽減、当該自治体外の行政活動のPR効果などメリットがある一方、真に必要で魅力ある事業をいかに提案するか、目標金額を調達できない場合の対応など、検討すべき事項があります。こうした点を踏まえ、**本市における導入については、先進事例を研究しつつ検討して参ります。**

### 質問：企業版ふるさと納税導入の考えは

「企業版ふるさと納税」の優遇措置を受けるための手続きは、「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」を立案し、寄附の見込みを立てるなど手続きが必要となりますが、**本制度導入の意向についてお伺いします。**

**答弁：**企業版ふるさと納税制度の対象となる事業は、地方版総合戦略に位置付けられた事業であり、雇用の創出や結婚・出産・子育て支援など地方創生に資する効果の高い事業について、アウトカムベースの重要業績指標、いわゆるKPIの設定やPDCAサイクルの整備により、実施される事業が対象となります。今後は「羽島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけがあり、**本市が推進する施策において、本制度の活用も視野に入れながら事業構築を図るなかで、本制度の要件等に合致する場合には、積極的に活用を図って参りたいと考えます。**

**「元気な羽島応援寄附金」のカタログも完成しました！→**



### 質問：「シティセールス戦略会議設置」の考えは

先進的な本市の魅力を構築するためには、「シティセールス戦略会議」を設置し、継続的な企画を生み出すことが肝要です。ブランド戦略を強化、実現するためには、シティセールス活動を推進する事こそ、羽島市ブランドの構築に繋がるものと考えます。各担当課が横断的な課題抽出や議論、情報共有をし、羽島市独自のシティセールス戦略を構築して頂きたいと思えます。**これまでのブランド戦略やシティセールスの取り組みと成果をお伺いし、「シティセールス戦略会議」の設置に対するお考えをお示し下さい。**

**答弁：**本市は、観光・産業、子育て・教育、住まう等の分野の関係課で構成する庁内組織「羽島市ブランド戦略会議」を平成27年度に設置し、シティセールス活動を推進している。その取り組みとして、他市イベントでブース出展によるふるさと納税のPR活動等を同会議での協議を経て実施しました。今後は**現在設置しているブランド戦略会議を新たなアイデアの創出の場へと昇華し、若手職員等の意見、これまで実施した活動の成果をフィードバックできるよう、「シティセールス戦略会議」として設置して全庁的な推進体制を充実します。** **女性職員さんも頑張っています！→**





## 危機管理について

### 質問：行政機関におけるBCP策定状況と企業に対するBCP策定に向けた働きかけは

市民の皆様には行政サービスの提供が可能となるようなBCPの策定を早急に行う必要があると考えます。そして企業も行政と同様、災害等で被害を受けても、業務が中断しないことなどが望まれております。行政におけるBCP策定状況、企業に対するBCP策定に向けた働きかけについてお伺いします。

**答弁：**BCPは基本計画を内部検討段階として取りまとめておりますが、さらに具体的な計画とするため、大規模災害により本庁舎が被災した場合における代替庁舎の在り方など精査を行っています。企業に対するBCP策定に向けた働きかけは、本年度の防災コーディネーター養成講座において、岐阜県BCP研修・訓練センターから事業継続主任管理者を講師に迎え、企業BCPに関する科目を増設したところです。

### 質問：羽島市危機管理体制方針の見直しは

本方針は平成17年に制定されました。現在の社会情勢に適合した「羽島市危機管理体制方針」の見直しが必要です。本方針の見直しについてお伺いします。

**答弁：**危機管理対策本部における代位順位、本部構成員の見直しを行い、自然災害、行政事務に伴う様々なリスクについて未然防止、早期発見、損害拡大の防止を管理するため、「羽島市内部統制に関する基本方針」を策定しました。危機管理体制につきましては、継続的な見直し・改善を行うと共に、全庁的に取り組む体制の強化について、基本方針に基づき個別計画を定めながら、推進して参りたいと考えております。

### 質問：ドローンの活用について

今回導入された機種の運用方法、当市の規制等お示しください。そして本市において水害など多くの災害現場でドローンの活躍を期待しているところであります。発災時の情報収集、初動体制の確立、二次災害を防ぐことを目指し、災害用ドローン導入に向けて検討されることを望みますが、どのようにお考えですか。

**答弁：**土木管理課職員により境川、桑原川に架かる橋梁の目視点検に活用し、ひび割れや腐食等の発見に役立て、規制につきましては、航空法を遵守致します。災害用ドローンは、悪天候時における性能や飛行時間、距離など、課題が多い状況であることから、現在のところ具体的な導入予定はございませんが、今後のドローン活用について、情報を随時収集しながら研究して参ります。

今回導入されたドローン →



### 質問：「はしメール」の成果、大規模災害時等ボランティアに対する登録体制は

登録者数、導入して得たことなどをお示し頂き、大規模災害発災後、本市を訪れるボランティアの皆様に対して、行政との情報共有や支援活動を円滑に進めるための情報発信が可能となれば、早期復興の一助となると考えますが、その登録体制についてお聞きします。

**答弁：**防災無線が聞き取れない時や、市外でも情報を受け取ることが可能であるなど好評を頂いており、5月末の登録状況は、防災情報の利用者は3,108人、火災情報は2,654人、イベント情報は、2,339人。大規模災害により災害救援ボランティアセンターの設置された場合には、ボランティアに対して「はしメール」の登録を紹介し、情報発信を実施します。

皆様のお手元に配布された「防災心得」、命を守る取り組みです →



## 任期満了に伴う羽島市長選挙

# 松井聡羽島市長が出馬を決意

## 6月定例会一般質問で再選出馬表明

# 羽島市をより飛躍させる

### 松井市長に決意を聞く！！

松井市長は「市民の皆様にご理解、ご協力を頂き、公約を概ね成果を出すことができた。各地域で市政報告を定期的に行い、市民の皆様の声を知ると共に、羽島市の現状を情報公開して行政の透明性を図り、選択と集中による政策の進捗状況を訴えてきた。そして公共施設の整備等々、新たな行政課題も見えてきたため財源性、実現性、発展性を十二分に踏まえ、羽島市の明るい将来のために身の丈にあった施策を推進し、羽島市をより飛躍させたい。」と熱く語った。

私は、今後も松井市政をお支えし、長期展望に立ったより良い羽島市のまちづくりを実現するために活動して参ります。



↑ 武藤外務副大臣に要望活動を行う松井市長

## 『野口よしひろを育てる会』サポーターを大募集中

- ・ 各地域で「広報誌・絆」をポスティングして頂ける方
- ・ 「広報誌・絆」をお店や事業所に置いて頂ける方
- ・ ミニ集会を開催して頂ける方（少人数OKです！） etc.

※ミニ集会では市の職員さんを講師としてお招きする「出前講座」も企画可能です。

**お問い合わせ先：noguchi.yoshihiro.hashima@gmail.com まで！！**

## 野口 佳宏プロフィール

昭和 62 年 羽島市正木町森 誕生（現在 28 歳）  
平成 15 年 羽島中学校卒業  
平成 18 年 大同大学大同高校卒業  
平成 18 年～20 年 海上・航空自衛隊入隊  
平成 22 年 衆議院議員 櫻田 義孝 秘書  
平成 25 年 参議院議員 大野 泰正 秘書  
平成 27 年～ 市議会議員初当選

### 【現在の主な役職】

平成 27 年～ はしまモアスポーツ少年団育成会長  
平成 27 年～ 自由民主党岐阜県連青年局 常任幹事  
平成 28 年～ 羽島市スポーツ少年団広報部長  
平成 28 年～ 羽島市青少年育成推進員



政策・活動報告は公式ホームページをご覧ください。

『野口よしひろ』で検索、もしくは上記のQRコードをご利用ください。